

第52回日本呼吸器学会学術講演会

市民公開講座

平成24年4月22日(日) 14:00～16:30

神戸国際展示場 2号館コンベンションホール北

参加費無料

息をすることは生きること！

プログラム

司会 西村 正治

(北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野 教授)

教育講演Ⅰ

「たくましく生きるための呼吸」

本間 生夫 先生(昭和大学医学部第二生理学教室 教授)

教育講演Ⅱ

「ヒトはなぜ酸素が必要か？」

飛田 渉 先生(東北大学保健管理センター 所長、教授)

特別講演

「人生の最高峰を目指して
— 高齢化社会におけるチャレンジと夢 —

三浦 雄一郎 氏(登山家)

参加方法

往復ハガキ(1枚につき1名)に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢を明記の上、下記の事務局まで、4月16日必着でご郵送ください。また、ホームページからお申し込みいただけます。

先着1,000名様。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

尚、当選の通知は、受講証の発送をもって代えさせていただきます。

<http://www.jrs.or.jp/jrs5252>

お申し込み・お問合せ

第52回日本呼吸器学会市民公開講座事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-15 和光湯島ビル7F

株式会社コンベンションアカデミア 湯島分室

TEL: 03-5840-8359 FAX: 03-5840-8129 E-mail: jrs52@m-ps.co.jp



主催：社団法人日本呼吸器学会 共催：一般財団法人日本呼吸器財団



教育講演 I



本間 生夫 先生 (昭和大学医学部第二生理学教室 教授)

略 歴

1973年 東京慈恵会医科大学卒業。1980年 医学博士。

1986年より昭和大学医学部生理学教室教授。

【専門】呼吸神経生理学

呼吸困難の発生メカニズムとして「中枢-末梢ミスマッチ説」を提唱し、呼吸リハビリテーション法を開発。情動と呼吸に関する論文を多数発表。

【著書】「呼吸を変えるだけで健康になる-5分間シクソトロピーストレッチのすすめ」(講談社)「息のしかた」(朝日新聞社)など。

【学外での活動】日本生理学会常任幹事、日本高等教育評価機構評価員、文部科学省教科用図書検定調査審議会委員など。

教育講演 II



飛田 渉 先生 (東北大学保健管理センター 所長、教授)

略 歴

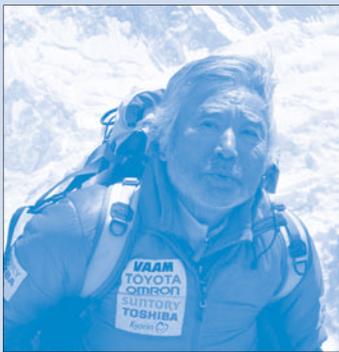
1972年 東北大学医学部卒業。75年 東北大学医学部第一内科に入局。79年より2年間米国ヴァージニアメイソン 研究所に留学。96年 東北大学助教授 (医学部内科学第一講座)。

2001年 東北大学教授 (保健管理センター所長・同大学院情報科学研究科健康情報学講座 担当) 現在に至る。

91年 国際胸部医学会日本支部賞、93年 日本胸部疾患学会熊谷賞を受賞。

主な研究分野：睡眠時無呼吸症候群、呼吸調節、慢性閉塞性肺疾患、呼吸不全の病態生理と臨床、健康科学。

特別講演



三浦 雄一郎 氏 (登山家)

略 歴

1932年生まれ。北海道大学獣医学部卒業。'64 イタリア・キロメーターランセに日本人として初参加、当時の世界記録樹立。'66年 富士山直滑降。

'70年 エベレスト・8000m 世界最高地点スキー滑降を成し遂げ、その記録映画はアカデミー賞を受賞。'85年 世界七大陸最高峰のスキー滑降を完全達成。

2003年、次男の豪太とともに世界最高峰エベレスト山(8848m) 登頂。当時の世界最高年齢登頂(70歳)と初の日本人親子同時登頂の記録を樹立。'08年5月、75歳にして2度目のエベレスト登頂成功。

広域通信制高校、クラーク記念国際高等学校・校長。記録映画、写真集、著書多数。

司会



西村 正治 先生 (北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野 教授)

略 歴

1977年 北海道大学医学部卒業。1985年「夜間睡眠時の呼吸調節」に関する研究で医学博士取得。同年から約3年間米国マサチューセッツ総合病院呼吸器科留学。2001年～大学院医学研究科呼吸器内科学分野教授就任。2010年～北海道大学病院副院長。本年度第52回日本呼吸器学会会長。

主な専門領域は、「呼吸生理学」及び「慢性閉塞性肺疾患(COPD)」。

米国胸部疾患学会誌など複数の国際的学術誌編集委員としても活躍。